



MEJIRO
UNIVERSITY

資料5

「大学における看護系人材養成の在り方に関する検討会」
(第8回) H22.3.26

H2.3.19

大学院教育に関する議論の動向

— 看護系人材養成検討の一助として —

目白大学 学長

佐藤 弘毅

中教審の審議

「中長期的な大学教育の在り方について」 H20.9月諮問

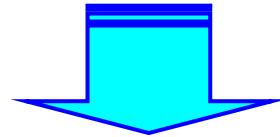
- ・ 社会や学生からの多様なニーズに対応する大学制度及びその教育の在り方
- ・ グローバル化の進展の中での大学教育の在り方
- ・ 人口減少期における我が国の大学の全体像

- 学位を与える「課程」中心に再整理
- 大学の機能別分化
- 教育の質保証
- 情報の公開
- キャリア教育の強化
- 大学院の充実
- 人口減少期における大学の規模の在り方

大学は学位授与機関

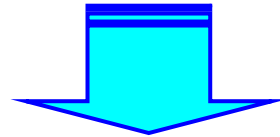
学位とは、大学教育、大学院教育の各課程の修了に係る知識・能力の証明

国際的通用性が求められる



「学習成果」を重視する国際的な動向

「何を教えるか」よりも「何ができるようになるか」
アメリカ、イギリス、オーストラリア等



日本の学士、修士、博士は、いかなる能力を証明するものであるのか



“
学
士
力
”

1. 知識・理解

- (1) 多文化・異文化に関する知識の理解
- (2) 人類の文化、社会と自然に関する知識の理解

2. 汎用的技能

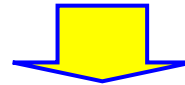
- (1) コミュニケーション・スキル
- (2) 数量的スキル
- (3) 情報リテラシー
- (4) 論理的思考力
- (5) 問題解決力

3. 態度・志向性

- (1) 自己管理能力
- (2) チームワーク、リーダーシップ
- (3) 倫理観
- (4) 市民としての社会的責任
- (5) 生涯学習力

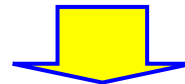
4. 総合的な学習経験と創造的思考力

キャリア教育の強化



大学設置基準の改正
学生の社会的、職業的自立を促す教育・指導

大学院の充実



大学院教育の実質化
専門職大学院の質保証



MEJIRO
UNIVERSITY

わが国の大学院の課題

教育機関

課程制大学院としての教育の実質化

修士課程・博士課程：体系的な教育課程の実施による充実

専門職学位課程：各種専門職大学院の創設・拡充

分野横断的な目標の設定

分野別目標の設定

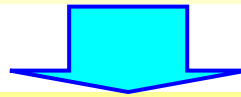
国際的な通用性、信頼性の向上

国際的な競争力の強化と質保証

産業界等における人材登用

大学院の役割と機能

- 「知識基盤社会」を支える高度な人材養成
- 担うべき人材養成機能
 - ① 創造性豊かな優れた研究・開発能力を持つ**研究者の養成**
 - ② 高度な専門的知識・能力を持つ**高度専門職業人の養成**
 - ③ 確かな教育能力と研究能力を兼ね備えた**大学教員の養成**
 - ④ 知識基盤社会を支える高度で知的な素養のある人材の養成



博士課程の機能

1. 創造性豊かな優れた研究・開発能力を持つ**研究者の養成**
2. 確かな教育能力と研究能力を兼ね備えた**大学教員の養成**

修士課程の機能

1. 研究者等養成の第1段階
2. 高度専門職業人の養成
3. 知識基盤社会を支える「21世紀型市民」の、高度な学習需要への対応

大学院の役割と機能

- 「知識基盤社会」を支える高度な人材養成
- 担うべき人材養成機能
 - ① 創造性豊かな優れた研究・開発能力を持つ**研究者の養成**
 - ② 高度な専門的知識・能力を持つ**高度専門職業人の養成**
 - ③ 確かな教育能力と研究能力を兼ね備えた**大学教員の養成**
 - ④ 知識基盤社会を支える高度で知的な素養のある人材の養成

博士課程の機能

1. 創造性豊かな
2. 確かな教育能力

「理論と実務の架橋」

- ・ 深い知的学識
- ・ 国際的に通用する専門知識・能力
- ・ 職能団体等により職業的専門領域の基礎が確立している職業に就く者

修士課程の機能

1. 研究者等養成 第1段階
2. 高度専門職業人の養成
3. 知識基盤社会を支える「21世紀型市民」の、高度な学習需要への対応



修士課程の教育

- ・ 社会の激しい変化に対応し得る**知の基盤**を与える
- ・ 課題に対する柔軟な**思考能力**と、深い洞察に基づく主体的な**行動力**を兼ね備える為の、高度な素養を涵養する
- ・ 学生の知的好奇心に応える多様で豊富な教育プログラムにより、**幅広い視点**を培う
- ・ 論文作成を基本とした教育、または養成すべき人材に関連する分野の**知識・能力**を修得する教育
- ・ 学修課題を複数の科目等を通して体系的に履修する**コースワーク**を重視した教育

看護学系の修士課程

・ 研究者養成プログラム

研究デザインや研究手法に関するコースワークを整備
看護実践を質的又は量的側面から扱う研究手法、
研究倫理

論文作成を通して批判力、論理性、表現力の涵養

実践的な研究テーマと基礎的な研究テーマの、両方に対応

・ 高度専門職業人養成プログラム

看護の現場における指導的立場で活躍する人材の養成

多様なコースワークや実践体験を含んだプログラムの整備

マネジメント論、コミュニケーション論、看護倫理学、教育方法論、コンサルテーション論、装具等の作成技術論

専門領域に係る学際的な知識、実践能力、教育能力の育成

専門領域での認定資格等に係わる教育を効果的に取組む工夫

面接法、参加観察法、
質問紙法、応用統計学
など